

# ファミサポ通信

3

発行:女子医大ファミリーサポート室 〒162-8666 新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 巴寮1階  
Tel&Fax 03-5369-9075 委託:NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ

10月1日発行

2011



## 【女子医大ファミリーサポート】新たな提供会員誕生

▼小俣みどり先生による「子どもの事故と安全」。グループワークではまず自分で考え、次に人の意見を聞き、真剣に話し合いました。



▲6月保育サービス講習会修了者15名。前列中央の野原理子先生(病児保育とリスクマネジメント講師)とスタッフと一緒に。



2011年6月30日(木)、6日間(29.5時間)の『保育サービス講習会』が終わりました。同月13日(月)から始まった提供会員の養成講座には26名の受講者があり、そのうち15名が6日間という長期にわたる講習の全科目を受講し、(財)女性労働協会からの修了証を手にし、女子医大ファミリーサポートに登録してくださいました。中には新宿区ファミリーサポートの互換科目を受講したり、昨年12月の講習会から引き続き受講され、修了された方もいます。

今回、熱心に受講された方の中には、女子医大医学部の学生のお母様が6名いました。女性医師・医療従事者が仕事と子育てを両立し、安心して医療に従事し、気持ちよく子育てができるよう、女子医大ファミリーサポートは環境を整えるお手伝いをし、応援してまいります。



▲「障がいをもった子どもの預かりについて」  
木津奈津子先生



◀「普通救命講習」  
牛込消防署にて



▲「保育の心」城田タキ子先生



▲「子どもの心の発達とその問題」  
湯汲英史先生



▲「からだの発達と病気」加藤郁子先生



▲「子どもとあそび」大森靖枝先生



▲「子どもの栄養と食生活」  
牧野伸恵先生

## ▼スキルアップ研修会

### 『心構えとリスクマネジメント』

9月15日(木)午前10時～12時30分、南別館において、提供会員のスキルアップ研修会が行われ、16名が参加しました。「心構えとリスクマネジメント」をテーマに活動中に起こった、あるいは起こりうるヒヤリ・ハット事例を用いて、グループワークを行いました。不慮の事故は起こりやすい月齢、年齢、おこりうるパターンがほとんど決まっており、“運が悪くて起こること”ではありません。事故は予防することが可能な事象として考える必要があります。

考えられる対処法、起きた原因、今後の予防策を3つの段階に分けて、まずは自分で考え、次にほかの人の考えを聞き、グループで話し合い、最後は出された意見を発表して全員で対策を共有しました。実際の保育に活きる、具体的で実践的な充実した研修会でした。



## ～開室1周年～

お世話になりありがとうございました！これからもよろしくお祈りします。

平成22年10月1日に開室した女子医大ファミリーサポート室は、先日1周年を迎えました。お部屋には絵本やおもちゃなども置いてあります。保育用に貸し出しをしますのでご利用ください。また、地域の情報、保育の相談など、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。



## 素敵な

## 保育のヒント

●清瀬の提供会員 Yさんは、5歳の双子の男のお子さんを保育園お迎え後、ご自宅で預かっています。そのYさんの体験談です。

\*\*\*\*\*

保育園から自宅までの道は、保育園から自宅へ気持ちを切り替える時間。まず決めたことは、3人で笑顔になろう。3人で手をつないで帰ろう。道が狭い時は、路側帯にそって歩こう。手が離れた時は動かない。お家に3人が無事に着いたら、鍵を開ける前に拍手しよう。自宅に入ったら手洗い、うがいをし『何して遊ぼう？』と相談する。2人いるから同じ意見になる時もあるが、違う意見になる時もある。そういう時は、どうする？じゃんけんする？と聞く。『ほめる』、『笑う』、『しかる』このことを大切にしています。



## ●女子医大ファミリーサポートの活動状況をお知らせします。

1、会員数 依頼会員16名 提供会員46名 計62名 (H23年9月末日現在)

2、活動状況 活動件数 77件 (5月16日～9月末日累計)

	利用した 依頼会員 (名)	活動した 提供会員 (名)	活動件数 (件)	活動内容 件
	1	1	6	・保育園への送り(7:30～) 1 ・保育園のお迎え(18:00～) 4 ・臨時就労時の依頼会員宅での預かり 1
6月	1	2	13	・保育園のお迎え 10 ・臨時就労時の依頼会員宅での預かり 3
7月	1	2	8	・保育園のお迎え 7 ・臨時就労時の依頼会員宅での預かり 1
8月	3	5	25	・保育園のお迎え 14 ・臨時就労時の依頼会員宅での預かり 1 ・幼稚園夏休み中の依頼会員宅での預かり 8 ・小学校夏休み中の依頼会員宅での預かり 2
9月	3	5	25	・保育園・幼稚園のお迎え 14 ・保育園お迎え後の預かり 1 ・臨時就労時の依頼会員宅での預かり 1 ・病院受診(定期健診)後保育園への送り 1 ・登園前の預かり・幼稚園への送り 8
計	4名	7名	77件	※兄弟姉妹の複数の預かりは1人1件と数える

### ●10月からの新たな活動依頼

※5月から8月の依頼に加えて、新たに依頼があり、事前打ち合わせが終わっている活動です。

- ・登園前の預かり・保育所への送り(午前6:00～7:30)期間限定3か月ほぼ毎日
- ・保育園への送り(午前7:30～)定期週1回

### E 依頼会員さんのコメント

3歳と0歳7ヶ月の2人の男の子がいます。今まではときどき、民間のベビーシッター会社を利用していたのですが、女子医大ファミリーサポートができたと思ったときは、大変うれしく、さっそく申し込みました。現在は、週に数回、保育園からのお迎えを中心にお願いしています。提供会員さんはみなさん、とても親切で子どもが大好きなのがお顔からあふれている方ばかりです。2人の子もとてもよくなついています。先日の台風15号が直撃した日は、私は外勤にでていて、休むことも、早く帰ることもできず、台風が来る前の1時にお迎えしていただき、預かり保育をしていただきました。本当に、助かった～。という感謝の気持ちでいっぱいです。今後は、病児保育の方も、ぜひ、スタートしていただければうれしいです。【第一病理 新井田素子】

### T 提供会員さんのコメント

講習会を終え、初めての活動前はドキドキ!?でしたが、久しぶりの公園や児童館での保育支援はとても楽しく、子供からはパワーをもらって充実した時間でした。毎日が楽しみです。【CN40代】

## ■11月保育サービス講習会受講者募集中。

11月2日(水)・4日(金)・8日(火)・10日(木)・16日(水)・21日(月)  
6日間、29.5時間という長期にわたる講習会を修了した方が  
女子医大ファミリーサポートの提供会員になれます。  
ご近所の方、お知り合いにご案内ください。

応援団になってくださる方に

ご紹介をお願いします。

受講申込書付チラシ・ポスターは女子医大ファミリーサポート  
室にありますので、ご協力をお願いします。



## 全体交流会のお知らせ

提供会員と依頼会員が親子で楽しめる交流会です。職員の方なら会員でなくても  
参加できます。お誘い合わせのうえ、お出かけください。

11月26日(土) 14:00~16:00 南別館1階大会議室

受付開始 13:30~

- 活動の流れと説明・報告・体験談 14:00~
- リコーダーアンサンブル 親子コンサート 15:00~15:30
- 歓談・情報交換、登録説明、登録など15:30~

※内容の詳細は後日掲示します。



## 女子医大ファミリーサポート室

直通 tel& fax : 03-5369-9075 代表 tel : 03-3353-8112 (内線 39911)  
family-support.bm@twmu.ac.jp http://www.twmu.ac.jp/NICU-support/

■開室時間 月~金曜日 9:00~17:00

会員	人数
依頼会員	16名
提供会員	46名

平成23年9月末日現在

●直通電話 03-5369-9075 ※転送電話になる場合があります。

※外出時・休日・時間外は留守番電話になっていますのでメッセージを残してください。

FAX 03-5369-9075 は終日受付。すぐにスタートボタンを押してください。

●大学代表電話 03-3353-8112 (内線 39911)

受付時間は上記と同じですが、こちらには留守電機能がありません。開室時間内にもかかわらず応答がない場合は、直通電話の方へかけ直して、伝言を残してください。特に援助を依頼した場合には、留守番電話でかまいませんので報告をお願いします。

【編集後記】●本室が昨年10月1日に開室してからお陰さまでまる1年が経ちました。皆さまのご協力の賜です。ありがとうございました。●次女が2歳の頃、私は週1回3時間ほどセミナーに出かけるため、地元のファミリーサポートを利用して、歩いて5分もかからない所に住む方が担当になってくださいました。ある日、帰宅してみると、アイロン台が真二つに折れていました。「ごめんなさい。すべり台だって、滑っていたら…」。こたつの高さにぴったりの長方形の平らなアイロン台で、以前からそうして遊んでいることを知っていましたから、それを聞いて私は大爆笑でした。いつかはと思っていましたから。運悪く提供会員さんのいる時にそうってしまったわけです。かえってご心配をおかけしてしまいました。よく笑う、楽しい方で、今でも年賀状のやりとりをしています。(コーディネーター村田)